

一、二拾俵之地 所口 氣多本宮
 一、田地五町 珠洲郡 三崎金分高座
 高直し七拾五石。但、二拾五石者修理料に除置、修理仕候。其上難叶時分は、修理被仰付候。三崎高座・金分之宮は、崇神天皇之御草創之由申傳候。天正十四年從高德院様、田地五町御寄附被成候所、慶安九年從微妙院様高座宮御建立、寛永十六年觀音堂御造營、夫より御代々修理被仰付候。
 一、四百石 惣持寺
 内三拾石は塔頭芳春院に被下之。
 惣持寺は元亨三年より之寺に御座候。文祿二年從高德院様方丈御再興被仰付、其以後燒失仕候所、佛殿當分見苦敷可有之候條、越中氷見朝日之觀音堂引取候様にと高德院様被仰付、慶長二年右之堂引取申候。方丈は同年御造營に御座候。山門者慶長六年芳春院様御建立被成候所、近年破損修理之儀御斷申上候時分は、或は御材木、或金子被下、惣持寺より修理仕候。
 一、三十石 塔頭 芳春院

一、二十石 酒井 永光寺
 一、十五石七斗五升 所口 靈泉寺
 外三石二斗五升八合 門前昌方七百八十二歩之高直し。
 一、三十俵之地 太田 海門寺
 一、十四石五斗 輪嶋 蓮江寺
 内四石五斗出分知に御座候所被下候。
 一、二十俵之地 鶉飼 金峰寺
 一、百二十一石一斗一升 瀧谷 妙成寺
 瀧谷は、三百八十餘年以前永仁二年開山日像上人建立之寺に御座候。從高德院様寺領御寄附被成候。其以後壽福院様、皓妙院様爲御菩提御再興被成候。兩御方様御逝去爲御追善、從微妙院諸堂御造營修理等被仰付候。
 一、三十俵之地 吼木山 法住寺
 承和元年より之寺に而御座候。天正十年從高德院様、弘法之御願堂御造營被成候所、及大破候に付、慶安三年從微妙院様修理被仰付、高三十俵之地御寄附被成候。寛文四年に茂修理被仰付候。
 一、十俵之地 道下 寶泉寺

一、百五十石 石動山 天平寺
 崇神天皇草創に御座候。延寶三年迄千七百餘年に及申候。天正十九年從高德院様高五十石御寄附被成候。慶安五年從微妙院様百石御寄進、引合百五十石之御印被下置候。權現之社堂、承應年中微妙院様御建立被成候。夫より御代々修理被仰付候。
 一、二十石 富木 大福寺
 大寶三年より之寺に而御座候。中頃より及大破申候。中古北之坊と申住持、元龜三年に再興之由申傳候。天正三年從高德院様社堂御修覆被仰付候。其以後及大破候所、慶安五年從微妙院様、觀音堂修理被仰付、其以後觀音堂其外社堂并寺共に御再興可被成由、御大工山上善右衛門被遣、指圖於小松入御覽、越中より材木御廻し被成候所、高岡瑞龍寺御建立之折節に而相延申候。其後度々御訴訟申上、御造營被仰付候。
 一、十二石五斗 徳田 安養寺
 一、八石六斗四升 松波 松岡寺
 一、二十五俵之地 鶉飼 妙巖寺

以上
 六 能州分社寺員數之事
 一、能州一宮以下凡社數七十ヶ所。
 一、同曹洞宗寺數九十三ヶ寺。
 一、同臨濟宗同斷一ヶ寺。
 一、同天台宗同斷一ヶ寺。
 一、同眞言宗同斷百三十三ヶ寺。
 一、同淨土宗同斷十五ヶ寺。
 一、同日蓮宗同斷三十七ヶ寺。
 一、同一向宗西方九十四ヶ寺。
 一、同東方二百六十二ヶ寺。
 一、同山伏當山方四十七ヶ寺。
 七 社領・寺領寄進之事
 加越能三州之内寺領者被下修理不被仰付所々
 一、米九石五斗 金澤 寶幢寺